

朝鮮における軽工業の現代化と人民消費品の生産

朝鮮社会科学者協会室長・博士 石哲元（ソク・チョルウォン）

最近、朝鮮が経済発展のために一番力を入れている部門の一つが軽工業である。今まで朝鮮では軽工業の自立的土台を造り、伸びつつある人民の消費品に対する需要を充足させた。しかし1990年代半ばに入って状況は変わった。

この時期、アメリカの侵略戦争挑発策動と経済制裁、社会主義市場の崩壊、何年間も続いた自然災害によって、朝鮮は経済的難関に直面した。このような難関は軽工業部門でも例外ではなく、人民消費品に対する需要を以前と同じ水準で充足させることができなくなった。人民生活向上が活動の最高原則である朝鮮労働党と政府はこのような難関の前でも躊躇したり、悲観しなかった。朝鮮労働党と共和国政府は厳しい条件でも現代的な軽工業工場を立ち上げ、軽工業の現代化を実現させるために闘ってきた。

こんにち朝鮮の全国には数多くの軽工業工場が建設され、軽工業工場改造、現代化が推進され、人民消費品生産で新たな転換が起きている。

1. 軽工業の現代化方向

朝鮮において軽工業の現代化は人民生活の向上に根本的な目的がある。その方向性は2つに分けることができる。まず軽工業工場を最新科学技術で装備して生産能率と製品の質を画期的に高めることである。次に消費品に対する人民の需要をより円滑に充足させ、軽工業部門労働者を骨の折れる労働から解放することである。

朝鮮における軽工業の現代化は次のような方向で進められている。

第1に、実利が大きい対象から順次行っている。朝鮮では最初から多くの対象を選び、一気に現代化を実現しようとはしないのである。実利が大きい対象から順序を決め、ひとつひとつ着実に改善する方向で行っている。朝鮮の経済発展と人民生活向上に対して重要な意義を持つ単位から現代化を進めている。

第2に、目標を高くして、実践をしている。朝鮮では新世紀の要求に合わせ、技術装備を高い水準まで引き上げ、軽工業の現代化を目標として、それを実現する方向で進めている。すなわち、新しい軽工業の工場を建設したり、現存軽工業工場の技術改造を行うにしても、最新科学技術に基づいて最も発展した水準のものを導入するようにしている。一方、軽工業工場で古く、立ち後れた生産設備は大胆に改造して、非合理的な生産工程を合理的で能率的なものに改編して行っている。それとともに、不足した工程を完備して生産工程上のバランスをとり、軽工業の巨大な生産潜在力が人民生活向上に実際に貢献できるようにしている。

第3に、生産と科学技術を密着させている。朝鮮では軽

工業部門の専門的人材と勤労者が科学技術を重視して科学者や技術者との協力を強化し、科学的な経営戦略を以て質のいい様々な消費品を多く生産するようにしている。

第4に、すでにある軽工業工場を改造する事業と現代的な軽工業工場を新しく建設する事業を同時に行っている。これは朝鮮が過去、自らの力で作り上げた軽工業の土台を効果的に利用する側面でも、世界的な軽工業発展の流れから見ても当然のことである。

ここで一言及すべきことは、朝鮮で軽工業の現代化を実現し、人民消費品に対する需要を充足させるといっても、すべての消費品を100%自国で生産することを意味しているのではないということである。

自力更生をするということは何でも自分の手で造らなければいけないということではない。朝鮮では軽工業部門で基本的なものは自国で生産して、その他の人民消費品は外国から買って需要を充足させる方向へと調整を進めている。

朝鮮では、軽工業の現代化を実現できる条件と可能性が十分に調っている。朝鮮労働党が提示した科学技術重視路線と人民経済の現代化・科学化方針があり、過去に国家が力を入れて育てた優秀な科学技術力量と技術機能水準が高い生産者大衆がいる。

2. 軽工業の現代化状況

現在、朝鮮では各道の基礎食品工場、平壤紡織工場、新義州履物工場など軽工業工場が現代化を急いでおり、生産を正常化し、人民消費品の数を増やし、製品の質を高めるための事業が活発に行われている。軽工業部門に対する支

出は2006年に比べ、2007年には116.8%も伸びた。

食料加工工業

朝鮮が軽工業を現代化して人民消費品生産を増やすために主に力を入れているのが食料加工工業である。まず基礎食品工場の現代化を急いでいる。

朝鮮で、人民の食生活を改善するために力を入れているのは塩、醤油、味噌等の基礎食品を円滑に生産することである。最近、咸鏡南道の朝鮮東海岸地域では、塩の生産が困難であるという既存の観念を破り、光明製塩所を建設して塩を生産する成果を成し遂げた。そして、咸鏡南道と咸鏡北道、平安北道をはじめ、海に接しているすべての道に現代的な精製塩工場が建設され、人民が美味しく雪のように白い精製塩を食べている。

大豆の原産地である朝鮮では「ジャン」を造って食生活に利用した歴史がとて古く、ジャンは重要な基礎食品として利用されている。日本ではジャンを「味噌」というのだが、歴史書によるとそれは「メジュ」(メジュは大豆を煮て四角い形にして干したものを。稲刈りが終わった稲で紐を作り、吊らして外または家で干す。それで味噌と醤油を作る)という意味で、高句麗時代「ジャン」の作り方が日本に普及されたという。朝鮮でジャンの生産は基礎食品問題を解決する事業だけではなく、民族のすばらしい伝統を生かす事業でもある。最近朝鮮では、平壤市と各道に現代的な基礎食品工場が建設され、ジャンの生産能力が過去最大である。

朝鮮の全国にすでにととのっている基礎食品工場の現代化も積極的に推進されている。清津基礎食品工場は数年前まで地方でよく見られる小さい工場に過ぎなかった。そのような工場が今日はコンピュータを利用した現代的な基礎食品生産工程を備えて、毎年ジャンの生産計画を超過達成する工場に変貌した。この工場では重要生産工程のコンピュータ化を完成してジャン生産を密閉式にするようにして、工場の技術改造を高い水準で実現するように努力している。各地に整備された基礎食品工場では生産を正常化して科学者、技術者がジャンの味をよりよくするための研究事業に力を入れているし、ジャン生産で技術規定と標準操作法の要求を徹底的に守るようにしている。また基礎食品工場だけではなく、他の食料加工工場の現代化を積極的に急いでいる。

白米と共にジャガイモと小麦粉を主食とする穀物を中心

とした食生活様式から、穀物を少なく取りタンパク食品を多くとる食生活様式へ転換させることが食生活様式を改善して、その水準を高めるための方向である。この方向で、人民の食生活を改善するために、朝鮮では食料品生産を工業的方法で行うための闘争が活発に進められている。

近年ジャガイモの生産が急激に伸びている状況で、ジャガイモを主食として利用するためジャガイモ加工を工業化するために積極的な対策を取っている。大紅湍ジャガイモ加工工場は、はるさめ生産ライン、飴生産ライン、焼酎生産ラインをはじめ、ジャガイモ加工品生産と関連したすべての工程を備えた現代的かつ総合的なジャガイモ加工工場として新しく建てられた。

平壤子供食料品工場では、1992年6月から今まで平壤市内のすべての学生と子供に一日も欠かさず豆乳を供給している。国の経済が苦しい状況でも子供のための食料品生産に必要なことは優先的に保障されている。

ヤギの乳の生産が増えることに合わせ、この加工を工業的にするための努力も活発に展開されている。桂南牧場などでは、現代的な設備でチーズをはじめ、ヤギの乳の加工品を生産しているが、その質はきわめて高い。

2002年に建設された大同江ビール工場は、加工工程が完全にコンピュータ化され、配管系統もすべてステンレス鋼になっている。この工場で生産されるビールは味に特色があり、誰もが楽しむことができる。この工場では技術工程と発酵工程に現代化を急ぎ、質の高いビールを多く生産して供給する事業を展開している。

江界ぶどう酒工場は、設備の現代化水準を高め、数多くの飲料の質において、数百年の歴史を誇る外国の名高い飲料工場にも肩を並べる現代的な工場として発展している。

その他、キョンリョン愛国サイダー工場をはじめ、数多くの食料加工工場が技術改造をして人民に必要な様々な食料加工品を多く生産しながらも、その質を高めている。

紡織、被服、履物工業

昔から我々人民は生活において着る問題をとて重視してきた。例え、食べられなくても服をきれいに着ることを重要な礼儀徳徳として考え、「一日食べないのは分らないけれども、着ないのは分かる。」という言葉があるように、服をきれいに着ようとした。朝鮮では、まず紡織、被服工業の現代化を急ぎ、服に対する人民の伸びる需要を充足させるための闘争が活発に進められている。

¹【訳者注】北朝鮮では日本海を朝鮮東海と呼ぶ。

平壤紡織工場では編織系生産ラインを更新して2007年に入って染色基地の現代化のための事業を大きく展開し、新義州紡織工場、亀城紡織工場でも生産工程の技術的な改造を急いでいる。船橋編織工場では生産工程を現代化して編織物生産を高い水準で正常化し、下着類を多く生産して平壤市民に供給している。この工場では2007年3月と同年第1四半期に編織物を各々計画の122.4%、114.2%生産した。

寧辺絹織工場では現代化された設備を利用して様々な絹布を生産している。この工場で生産された朝鮮の生地と布団類、チマチョゴリの裏地、色々な色の絹、色々な色で造った布など様々な絹布は美しく色が様々で、結婚を迎える女性や女性の間で評判を呼んでいる。

平壤朝鮮服工場では、現代的な技術を基礎に、絹布の加工を美しくしている。博川編織工場では、現代的な設備を備えて生産を増加させており、勤労者の科学技術の知識水準を絶え間なく高め、技術規定と標準操作法の要求を徹底に守り、ピロードと毛布の質を高めている。この向上で生産された上品で美しいふわふわの毛布を買って平壤第1デパートの広いドアを出る勤労者たちの嬉しそうな姿は首都の活気あふれる風景に拍車をかけている。

平壤紡織機械工場では、生産土台と潜在力を最大限動員利用して、生産と科学技術を密着させ、紡織工業の技術改造に必要な新しい織機を生産している。

朝鮮では、運動靴と皮靴、射出成形長靴をはじめさまざまな製品を生産する履物生産基地などの技術改造を急いで履物の生産を伸ばしている。

新義州履物工場では、すでに生産工程の現代化と技術改造を進行して、それが実質的に効果をあげるようにするための事業を計画している。新義州履物工場、順川靴工場では、生産設備の能力を最大限にまで高めながら、履物の底の生産工程をはじめ色々な生産工程の技術改造を急いでいる。履物機械工業部門では、すでに調った生産土台と潜在力を最大限動員利用しながら、製靴自動化生産に向けた闘争が進めている。

日用品生産工業

朝鮮では歯ブラシ、歯磨き、石鹸、化粧品を生産する工業部門の現代化にも深い関心を持って、この事業を力強く推進している。まず現代的な歯ブラシ、歯磨き、石鹸の生

産基地を設け、質の良い様々な製品を生産している。

平壤日用品工場の歯ブラシ生産ラインでは、自国の力と技術でブラシの毛の模様を見た目を良くして、その強度も多様化することによって様々な用途に使う歯ブラシを大量生産している。一方、技術革新する過程でナノ殺菌歯ブラシを開発して、舌ブラシをはじめ質の良い製品を思いのままに生産している。この工場では、歯ブラシを生産する時に出てくる副産物によって雑用のフタとバケツ、弁当箱とお皿をはじめとした様々な消費品も生産している。

新義州化粧品工場では、生産した歯磨きの質が非常に良く、最近行われた全国的な軽工業製品品評会で優秀な評価を受けた。現在、朝鮮では歯ブラシ、歯磨き、石鹸に対する人民たちの需要を円満に充足させている。

また、化粧品生産の現代化を急いでいる。

新義州化粧品工場では、従来、美的用途だけに使われた化粧品を現在では、皮膚表面に与える栄養機能と老化防止機能を揃えた機能性化粧品として発展させている。この工場では、朝鮮に普通に生えている薬草から有効性分を抽出して、効能が高いクリームを作ることに成功したし、発酵法を受け入れて人々の顔を白くきれいにする効能が高い美白栄養液を開発し、歯周炎予防歯磨きや新しい美容パックも作り出した。これと共に、化粧品生産で無菌化、無人化を実現して口紅と粉クリームの色を多様にする問題も円満に解決していつている。新義州化粧品工場で生産した「春の香り」という化粧品は、女性たちの間で非常に人気が高い。

平壤化粧品工場でも、最近新たに建設した数千㎡の生産建物に現代的な最新設備を揃えて様々な質のよい化粧品を生産している。また、かばん、食器をはじめ様々な日用品生産の現代化を急いで質のよい製品を多く生産している。

咸興栄誉軍人樹脂日用品工場では、技術革新運動を力強く行って、射出成形長靴、雨着、かばんをはじめ様々な人民消費品の生産で革新を起こしている。

朝鮮の現代化された工場で生産されているホーロー器、硬質ガラス器は質が高く、家庭で広く使われている。

3. 「8月3日人民消費品²」の生産

朝鮮において、「8月3日人民消費品」の生産は、地方と工場、企業所らにある原料源泉と内部予備³を動員して、

²【訳者注】金正日総書記は、1984年8月3日に平壤市軽工業製品展示場を視察した際に「工場内に生活必需品作業班を、里・洞単位に家内作業班や副業班を組織して生活必需品をたくさん作り、至るところに直売店を設けて人民の需要を満たしなさい」と指示した。これに従って、工場の生産過程から出る副産物や廃棄物、遊休資材等を利用して国家生産計画にはない製品を作っており、これを「8月3日人民消費品」と言う。

³【訳者注】内部予備とは、各単位で使える資源（人的資源、端材などの物質資源、金銭など）のことで、新たに投資をしなくても動員できるものをいう。

人民消費品を生産する軽工業部門として国の全般的な消費品生産中で大きな部分を占める。

「8月3日人民消費品」の生産運動が始まって20周年を迎えた、2004年8月3日に人民文化宮殿で「8月3日人民消費品」の展示会が進行された。展示会には、地方の原料源泉と内部予備を動員して、生産した数千種類の4万点余に達する被服製品、鉄製日用品、草物製品、木製品と農地産物などのさまざまな細小商品（細細しいさまざまな日用品）らが展示された。

展示場には、平壤市万景台区域で生産した日用必需品らも展示されたが、この区域では生活必需品の職場と作業組、家内作業組をよく組織して、区域の中の企業所から出る廃棄物、副産物を利用して数百種の日用必需品を生産している。

現在朝鮮では、現代的な科学技術に基づいて「8月3日人民消費品」生産の優越性がもっと高く発揮されるように大きな力を入れている。

むすび

軽工業の現代化を実現し、近い将来に人民消費品の質的

水準を高めて、その種類を増やすことで人民に羨むものがない物質生活を用意しようとするのが、朝鮮労働党と政府の確固とした立場である。

偉大な指導者金正日同志は最近、船橋紡織工場、平壤化粧品工場、寧辺絹織工場、江界ぶどう酒工場をはじめとする数多くの軽工業工場を現地指導しながら軽工業の現代化と人民消費品の生産を画期的に高めることに立ち向かう方向と方法を具体的に明らかにしてくださった。

2007年1月1日に発表された共同社説では、科学技術重視路線を徹底的に貫徹しながら、軽工業工場と地方産業工場をフル稼働させて、人民経済のすべての部門で予備と可能性を総動員して、人民消費品の種類と質を絶えず高めることに対する課題が提示されている。

軽工業部門に対する国家的投資は、過去に比べてはるかに増えている。朝鮮では、軽工業の現代化を積極的に促して、人民消費品の生産を伸ばすことによって、近い将来は人民たちに増える消費品に対する需要を円満に充足させていくだろう。

[朝鮮語原稿をERINAにて翻訳]